

日光市立小中学校の適正配置に向けて

くわしくは 学校教育課 教育総務係 ☎0288-21-5181

～令和4年4月、新たな「大桑小学校」と「足尾小中学校」がスタートします～

全国的に少子化が進行し、当市においてもその進行は厳しい状況にあります。児童生徒数の減少に伴う学校の小規模化は、教育活動や学校運営など、さまざまな分野に影響を及ぼすことが懸念されています。

このような状況の中、市は、子どもたちにより良い教育環境の提供ができるよう、平成28年6月に「日光市立小中学校の適正配置にかかる基本的な考え方」を策定し、小中学校の適正配置を進めています。

令和4年4月には、次の2つの中学校区において、適正配置を行います。

豊岡中学校区…大桑小学校・小百小学校の2校が統合した、新たな「大桑小学校」がスタートします。

足尾中学校区…足尾小学校と足尾中学校の2校が併設し、小中一貫校として「足尾小中学校」がスタートします。

場所は、現在の足尾小学校(足尾町赤沢)となります。

小百小学校が 閉校します



学校の歴史

小百小は、明治6年6月に「小百学舎」として、宝勝寺の本堂を仮校舎として開校しました。

明治33年に寺院が焼失。明治37年に西校舎が落成し、昭和3年、現在の校地に拡張されました。その後、名称が「小百国民学校」から現在の「小百小学校」となりました。

148年もの間、校庭のやまなし(山梨)の木とともに、多くの卒業生・教職員が歴史を紡いできました。今日までの歴史の重さと卒業生の母校に対する思いを強く感じます。

閉校にあたって

小百小は、「全員参加、誰もが輝ける学校」を目指し、小規模校の特色を生かした田植え・稲刈り、農園活動、二宮デー、やまなし

祭、和太鼓活動、ふるさと学習など特色ある教育活動を行ってきました。

子どもたちは、切磋琢磨しながら、何事にも意欲的に取り組み、互いを思いやり、全員が家族のような存在です。母校の思い出と誇りとともに、新しい学校で頑張ってくれることを願っています。

令和3年度の取り組み

「心に残る一年」「二日一日を大切に」をテーマに教育活動を行ってきました。児童会が中心となって企画した創立記念集会での横断幕作成、地域の方々の協力のもと、みんなで作った人文字アートの空撮は、特に深く心に残るものとなりました。

また、児童が新しい学校でも笑顔で過ごせるよう、大桑小学校との交流も行いました。

閉校記念事業実行委員会では、保護者・地域・学校が一体となって準備を進め、会議や事業のたびに小百の地域力の素晴らしさを感じ、まさに「地域とともにある学校」を実感しました。

学校見学会

日時…3月12日(土)・19日(土)午前10時～午後3時
対象…卒業生、地域の方など

閉校記念式典

日時

3月28日(月)午前9時30分～11時50分(受付は9時から)

内容

○9時30分～10時15分：あいさつ、校歌斉唱、校旗返納など

○10時25分～11時15分：児童発表、児童による和太鼓演奏など

○11時30分～11時50分：閉校記念碑除幕式など

※そのほか、閉校記念事業として、卒業生や歴代校長・元教職員の寄稿文や写真などを掲載した記念誌を発行します。また、校庭に校章と校歌、沿革史を刻んだ記念碑の建立もします

学校見学会・閉校記念式典などに関するお問い合わせは…

小百小学校 ☎(21)7140

「小百小学校」アルバム



運動会(昭和30年度)



給食(昭和36年度)



横断幕作成(令和3年度)



人文字アート(令和3年度)

地域を担う子どもたちの成長を地域全体で支えましょう

学校支援ボランティア活動推進事業

くわしくは 生涯学習課 生涯学習係 ☎0288-21-5182

この事業は「地域と学校が協力・連携して、地域の大人たちが、地域の子どもたちをみんなで応援しよう」というものです。市内全小中学校に「地域教育協議会」が設置され、学校支援ボランティアをはじめとする地域の皆さんの力で、各学校、各地域で特色ある活動が進められています。

今回は、県教育委員会による「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」の実践校でもあり、地域と学校の連携・協働を推進している「今市小学校」の取り組みと、地域と学校の連携・協働のこれからについてお伝えします。

今市小学校との連携事業の紹介



▲今小報徳ウォークラリー

学校周辺を巡り歩き地域を学ぶ伝統ある学校行事です。ボランティアの協力で、安全・安心に活動できました。



▲防災訓練キャンプ

アイシーエム「IICM 今小おやじの会」を中心に、地域の方々と非常時を想定し、青竹炊飯や宿泊体験などを行いました。



▲オータムスクール

地域教育協議会が主催し、地域コーディネーターを中心に、地域住民が主体となり準備運営をし、さまざまな活動が実施されました。

子どもたちは、さまざまな体験をしながら地域の方々と触れ合うことにより、心も大きく成長しました。



◀地域教育協議会

「地域で育てたい子どもの姿」・「未来の今小の姿」について意見共有をし、今年度の活動などについて話し合いをしました。

地域と学校のこれから ～「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」～

国では、すべての公立学校に「学校運営協議会制度」の導入を目指し、同時に「地域学校協働活動」を推進しています。

「学校運営協議会」ってなあに？

学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校運営に取り組むための仕組みです。地域住民や保護者が「子どもをどのように育てるのか」「地域とのつながりをどのように強めるのか」など、みんなで話し合い、責任をもって学校運営に参画します。地域の人たちのより強い絆を創るために、「地域の人々と一緒に汗を流し、一緒に子どもと地域の未来を話し合っていく」のが「学校運営協議会」です。

「地域学校協働活動」ってなあに？

新しい活動ではなく、すでに学校や地域で幅広い地域住民等の参画を得ながら行われている活動です。学校支援ボランティア活動や地域教育協議会主催事業なども当てはまります。地域の大人と子どもと一緒に考えて行動し、地域のつながりを強くしていく地域学校協働活動は、地域で多様な形、多様な展開で自由に行われています。

これまでの学校支援ボランティア活動や地域の活動で培ってきた「地域の方々のつながり」をもとに、より多くの市民の皆さんに子どもや学校に関わっていただくことで、地域の未来を担う人材の育成、そして、元気いっぱいな地域を目指します。今後も本事業へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。